市街地整備促進特別委員会資料

案件１　富田地区のまちづくりについて

令和８年１１月２日

【成長戦略本部】

案件１　富田地区のまちづくりについて

目　次

１　富田地区活性化プロジェクトについて

１　富田地区活性化プロジェクトについて

１－１　主な経過

富田地区において、豊富な歴史・文化を活かした本市西部の都市拠点としてふさわしい、にぎわいあふれるまちづくりを進めるため、公共施設の再編・最適化や市有地の利活用を含め富田地区の活性化などに資するプロジェクトとして「富田地区活性化プロジェクト」（令和８年３月）を作成しました。令和８年度からは、５つのプロジェクトを中心に富田地区のまちづくりに取り組んでいる。

（１）取組経過

年　度		取組内容
令和７年度	４月	○富田地区まちづくり庁内検討会を設置
		・富田地区の活性化に向けた取組方針等について検討
	１１月	○市街地整備促進特別委員会
		○地域団体等と富田地区のまちづくりについて意見交換を実施
	２月	○市街地整備促進特別委員会
	３月	○「富田地区活性化プロジェクト」作成
		○富田自治会連合幹事会にてプロジェクトの説明
令和８年度	４月	○(公社)日本芸能実演家団体協議会*との文化芸術の振興に関する連携協定締結及び歴史文化施設整備に関する意見交換を実施
		○地域団体等とプロジェクトに関する意見交換を実施
		○富田自治会連合を通じて所属する単位自治会への冊子配布による周知
	７月	○地域団体と富田支所等建て替えに関する意見交換を実施
	８月	○文化振興審議会でプロジェクトについて報告
		○富田フェスティバルでパネル展示及びアンケートの実施
	９月	○地域団体等と(公社)日本芸能実演家団体協議会と歴史文化施設整備に関する意見交換を実施
	１０月	○景観審議会で富田地区の歴史的なまちなみの景観形成について審議

＊（公社）日本芸能実演家団体協議会とは、６９の芸能団体などが加盟し、伝統芸能を含む幅広い芸能の実演家の権利を守り、芸能文化の継承・発展を支えている団体

１－２　パネル展示とアンケート結果

８月２９日（土）に開催された富田フェスティバルにおいてプロジェクトのパネル展示及びアンケート調査を実施し、１２６人から回答がありました。

（１）当日の様子





（２）回答概要（各設問とも複数回答）

年代	１０代以下	２０代	３０代	４０代	５０代	６０代	７０代以上	回答しない
人	26	4	13	25	25	12	20	1
割合	20.6%	3.2%	10.3%	19.8%	19.8%	9.5%	15.9%	0.8%

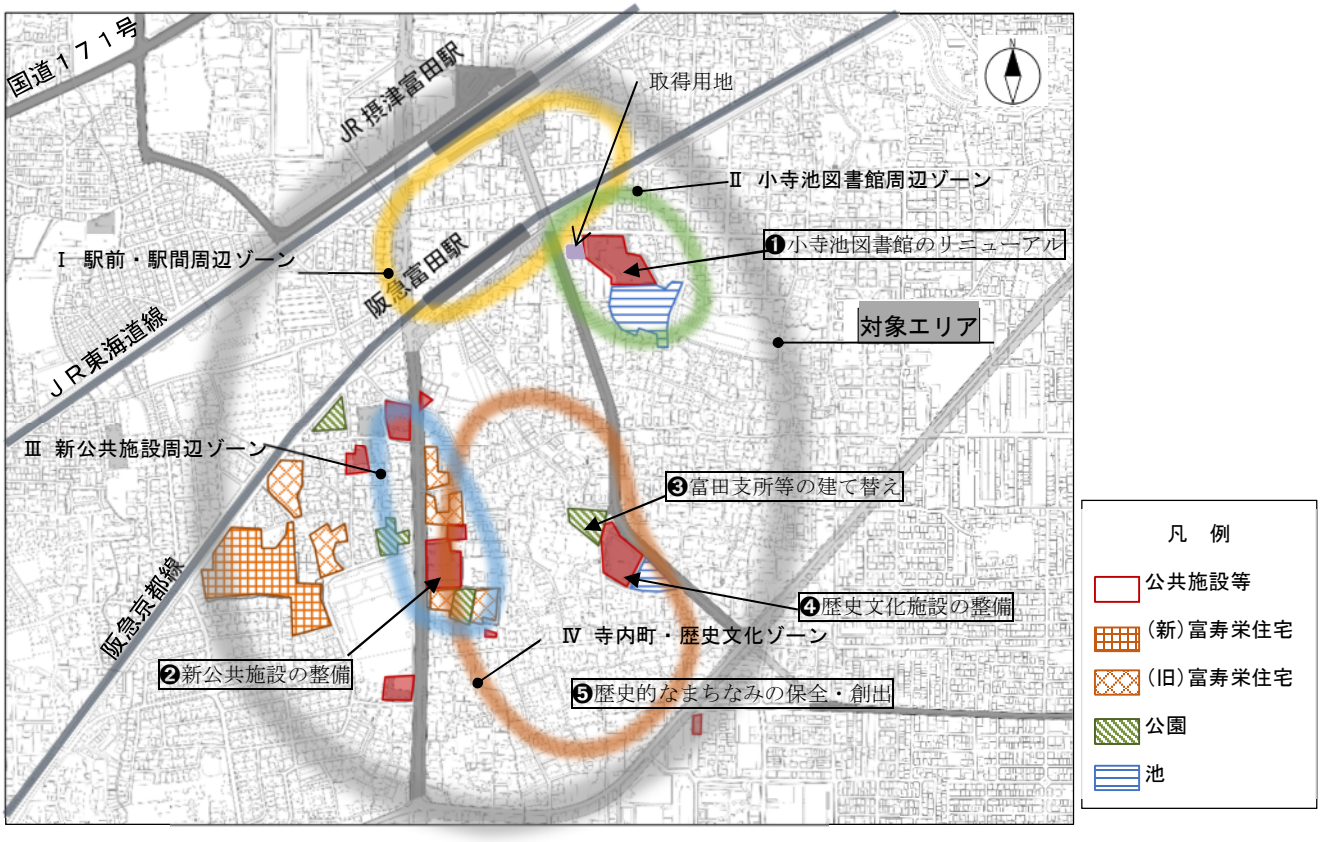
新公共施設について、充実してほしいもの	（票）	割合
子どもが遊べる場所（屋内・屋外）	92	73%
くつろげる・交流できる場所	68	54%
健康づくりができる場所	40	32%
本を読んだり、勉強したりできる場所	58	46%
趣味やサークル活動ができる場所	52	41%
会議や打合せができる場所	27	21%
地域のお知らせや活動が知れる場所	28	22%

富田支所等の建替えについて、新支所であったら便利なもの	（票）	割合
市役所本庁と、オンラインでつないで相談できるサービス	71	56%
ＡＩで案内してくれるサービス	38	30%
住民票や戸籍などを自分で発行できるサービス	63	50%
予約して待たずに手続きできるサービス	54	43%
クレジットカードや電子マネーで支払えるキャッシュレスサービス	63	50%
税金や保険料などをセルフレジで支払えるサービス	49	39%

歴史文化施設の整備について、参加してみたいこと	（票）	割合
伝統芸能の公演を見ること	68	54%
伝統芸能を体験するイベントや講座	56	44%
学校などと連携して、一緒に学ぶ・交流する取り組み	50	40%
住民が参加できるイベント	66	52%

富田らしい景色や残したい場所	（票）	割合
造り酒屋	23	21%
小寺池図書館周辺	21	19%
富田小学校	16	15%
本照寺	10	9%
普門寺	8	7%
富田支所・公民館・筒井池	8	7%
三輪神社	7	6%
その他	33	30%

１－３　対象のエリア・プロジェクトについて



１－４　各プロジェクトの進捗状況について

１）Project-❶　小寺池図書館のリニューアル

自習室の設置、親子のお話コーナーの拡充、テラスエリアの改修、トイレや照明設備の更新などを行い、より快適に利用できる施設となるようリニューアル工事を進めている。

また、施設に隣接する用地（４１１．７４㎡）を取得し、さらなる利便性向上を図る。

○内装工事：令和８年６月～１２月末（予定）

○テラス工事：令和９年１月～２月末（予定）



閲覧室（自習室）【２階】



テラス入口【１階】



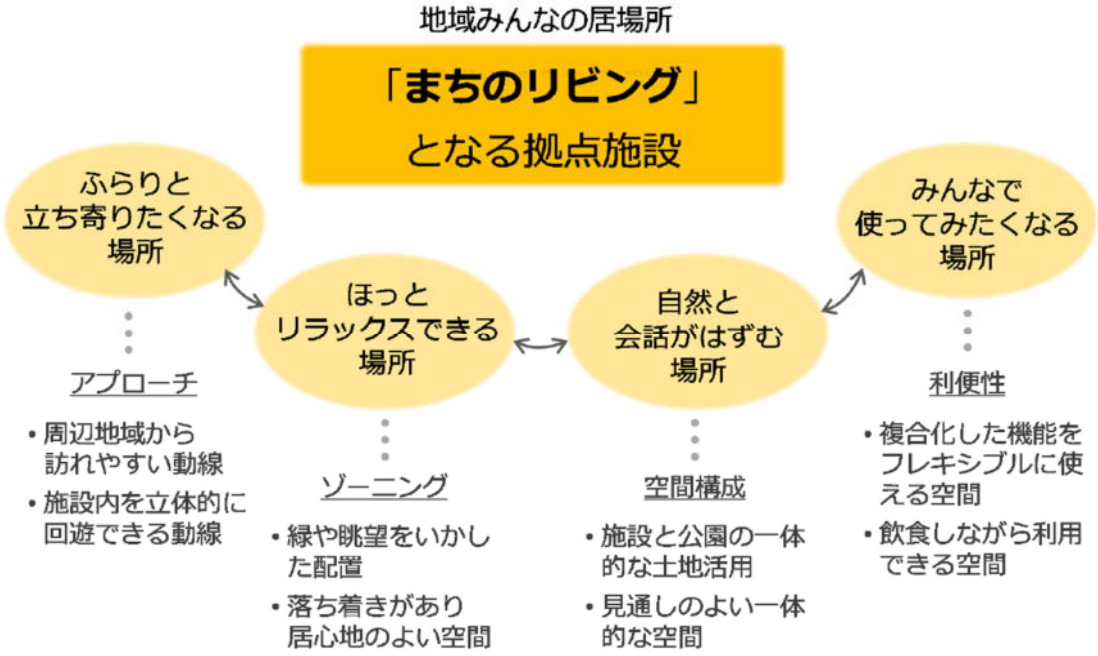
テラス【１階】

２）Project-❷　新公共施設の整備

富田地区まちづくり基本構想に基づき、地域みんなの居場所「まちのリビング」として、多世代交流の拠点となる施設を目指し、基本計画の策定に向けた検討を進めている。

本施設においては、子育て世代、青少年、高齢者など、幅広い世代が利用しやすく、さらなる交流が生まれる施設となるよう、既存施設の機能を整理するとともに、子どもの遊べるスペース（屋内・屋外）や多世代が憩えるスペースなどについて検討を進めている。

（１）目指す施設像



（２）施設イメージ

①地域住民の居場所となる場　（多世代交流機能）

発表展示スペース、飲食スペース、創作物の販売スペース、イベントスペースなど

②地域ぐるみで子どもたちを育む場　（子育て・学習機能）

読書や勉強ができるスペース、遊べるスペース、屋外広場・屋外テラスなど

③住民主体の多様な活動・発信を生む場　（啓発・講座等機能、貸室機能）

創作活動スペース、発表スペース、健康増進スペース、会議スペースなど

④地域住民の支えとなる場　（相談機能）

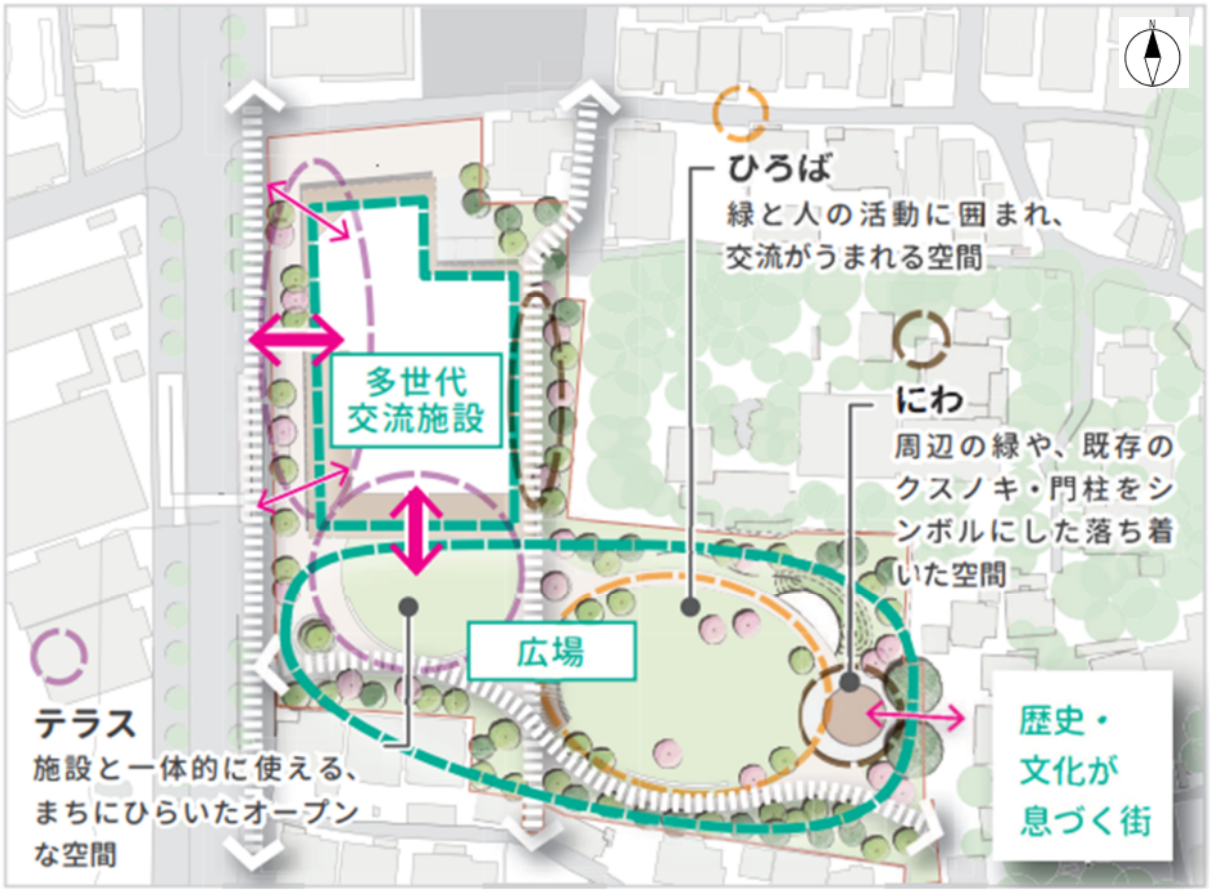
相談室、事務スペースなど

⑤安全・安心の場　（防災機能）

フェーズフリーの考え方を取り入れ、災害時に各スペースを柔軟に活用できる施設

（３）施設配置イメージ

敷地面積：約８，９００㎡（広場含む）　延床面積：約４，０００～５，０００㎡



（参考）イメージ



（４）既存施設の機能整理

富田ふれあい文化センター、富田青少年交流センター、富田老人福祉センターの貸室機能については、利用状況などを踏まえて整理・最適化を図る。また、各施設で実施している相談機能については、総合的な相談窓口として統合し、リニューアルを図る。現在実施している人権啓発や青少年健全育成、高齢者の健康増進に関する各種事業については、事業目的に合わせて整理・統合しながら新施設を利用して実施する。

３）Project-❸　富田支所・富田コミュニティセンター・富田公民館の建て替え

老朽化した施設の建て替えを進めるため、関係者と協議調整しながら、基本設計及び実施設計を進めている。

また、支所等の整備に必要な敷地について、用地取得に向けて取り組んでいる。

（１）建て替え工事について

○施設概要

市民が快適に利用できる空間として整備するとともに、市役所本庁における窓口改善を踏まえ、行政サービスのさらなる充実を図るべく検討を進めている。

また、現在の利用状況等を踏まえた諸室を配置し、広場との連携を図りながら、利用者のニーズに応じた地域活動や文化・交流活動にも利用しやすい、多目的で利便性の高い施設を整備する。

○施設規模（想定）

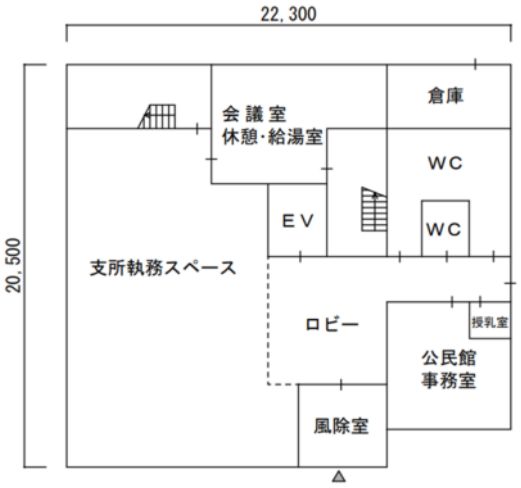
構造：鉄骨造３階建て

敷地面積：約１，０００㎡　延床面積：約１，３００㎡

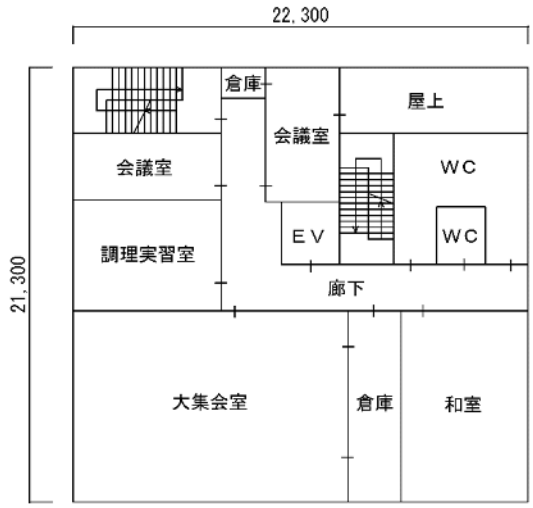
○建物配置図・各階平面図（計画）



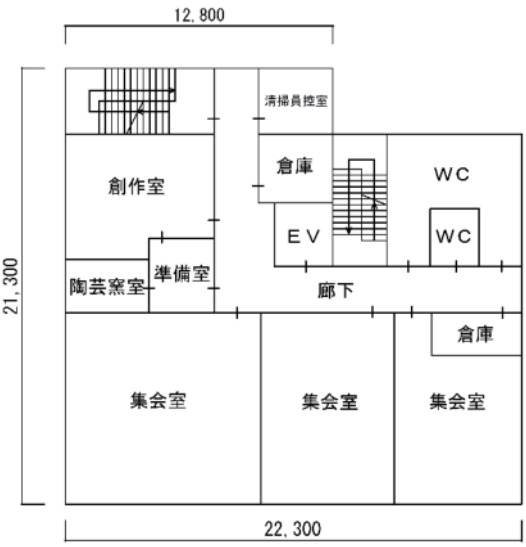
建物配置



１Ｆ平面図



２Ｆ平面図



３Ｆ平面図

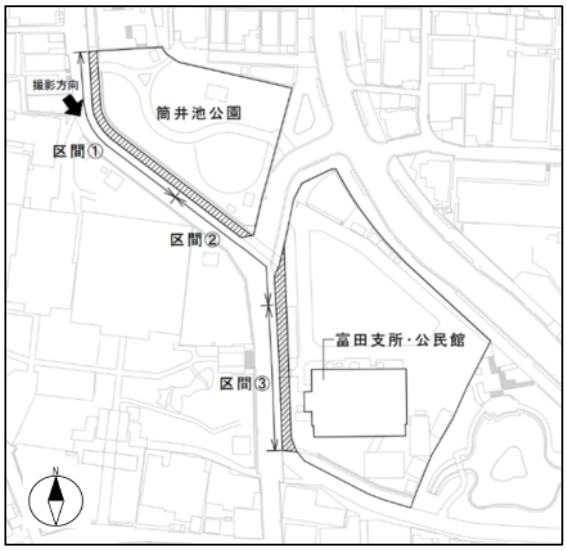
（２）水路工事について

令和９年度に着手予定の支所等の建て替え工事に先立ち、計画地に隣接する水路の改修工事を行うため、建築設計など関連事業と連携・調整しながら水路改修設計を進めている。

水路改修にあたっては、周辺道路の交通状況や施設の整備計画等を踏まえて、水路をボックスカルバートとし、上面を歩道に改修する計画で進めており、歩行者の安全性向上を図る。

工事期間については、改修設計完了後、支所等建て替え工事をはじめとした関連工事とスケジュールを調整した上で、各年の渇水期内（１０月から６月まで）に、工事予定図のとおり３区間に分けての施工を予定している。

○工事予定図



○水路現況写真

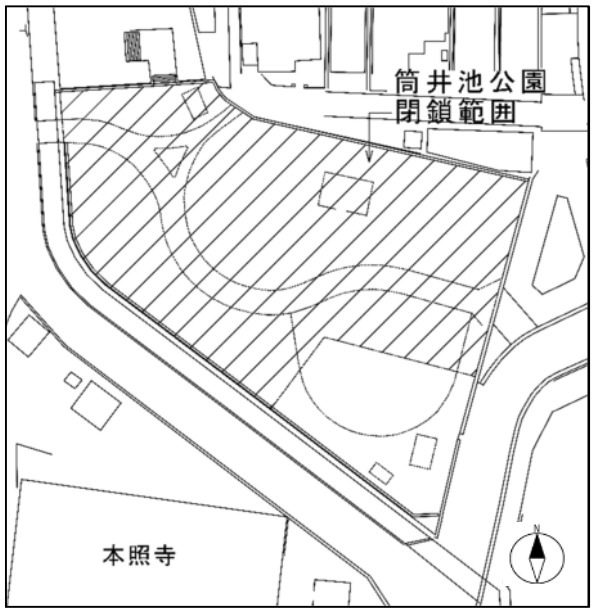


（３）今後の予定について

富田支所等の建て替え計画地となる筒井池公園は、関連工事の施工に伴い、令和９年１月下旬から右図に示す網掛け部分（筒井池公園閉鎖範囲）を閉鎖する。

令和９年度に支所等の建築に必要な用地を取得した上で、同年６月頃に公園全体を閉鎖し、支所等建て替え工事、水路改修工事、公園リニューアル工事を行い、令和１１年春の供用開始を予定している。

○公園閉鎖範囲図



４）Project-❹　歴史文化施設（ホール・資料館）の整備

歴史文化施設の整備に向けて、現在、施設整備に係る基本計画の検討を進めている。

（１）施設整備の基本方針

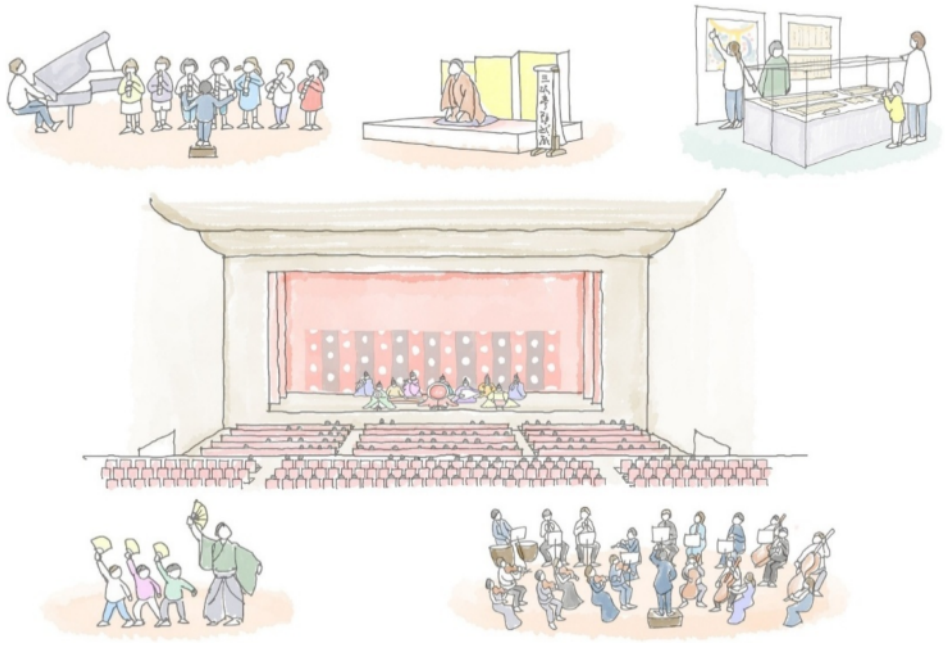
芸術文化の振興と富田地区の歴史継承の拠点として、雅楽などの伝統芸能に親しめるホールや、富田の歴史などを展示するスペースを整備し、地域の活性化に取り組む。

（２）施設のイメージ

・伝統芸能の鑑賞及び体験機会の提供や普及育成の場
・市民の文化活動・交流の促進の場
・富田地区の歴史資産の展示・発信の場

（３）施設計画（案）

・敷地面積　約４，０００㎡
・ホール（３００～５００席程度）
・歴史展示スペース
・稽古場、楽屋など



（４）意見交換等について

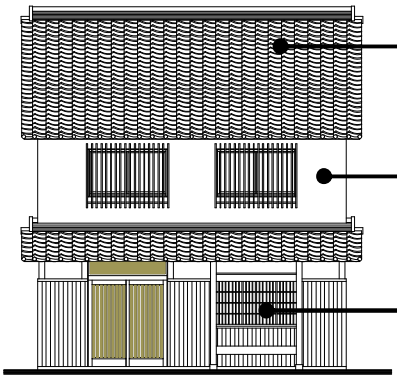
市民や伝統芸能団体、実演家、審議会などから寄せられた主な意見

・施設整備によるまちの活性化や、学校、地域との連携を促進する施設にしてほしい。
・利用しやすく、市外にもＰＲできる施設整備に取り組んでほしい。
・施設を拠点とした地域連携や、歴史・文化の継承につなげてほしい。
・施設と併せてまちなみの整備にも取り組んでほしい。
・富田の歴史を踏まえた芸能鑑賞や、資料展示ができる施設にしてほしい。　など

５）Project-❺　歴史的なまちなみの保全・創出

富田地区の歴史的なまちなみの保全・創出に向けた検討を進めている。その一環として平成２７年度に創設した「富田まちなみ環境整備事業」について、対象となる範囲の拡大および修景基準の見直しを行い、さらなる景観の保全と創出に取り組む。

（１）富田まちなみ環境整備事業（主な事業概要）



屋根:周辺と調和した勾配形式とし、黒･灰色系の日本瓦葺きとすること。

壁面:木、土、漆喰などの自然素材で仕上げ、造り酒屋や町家と調和を図ること。

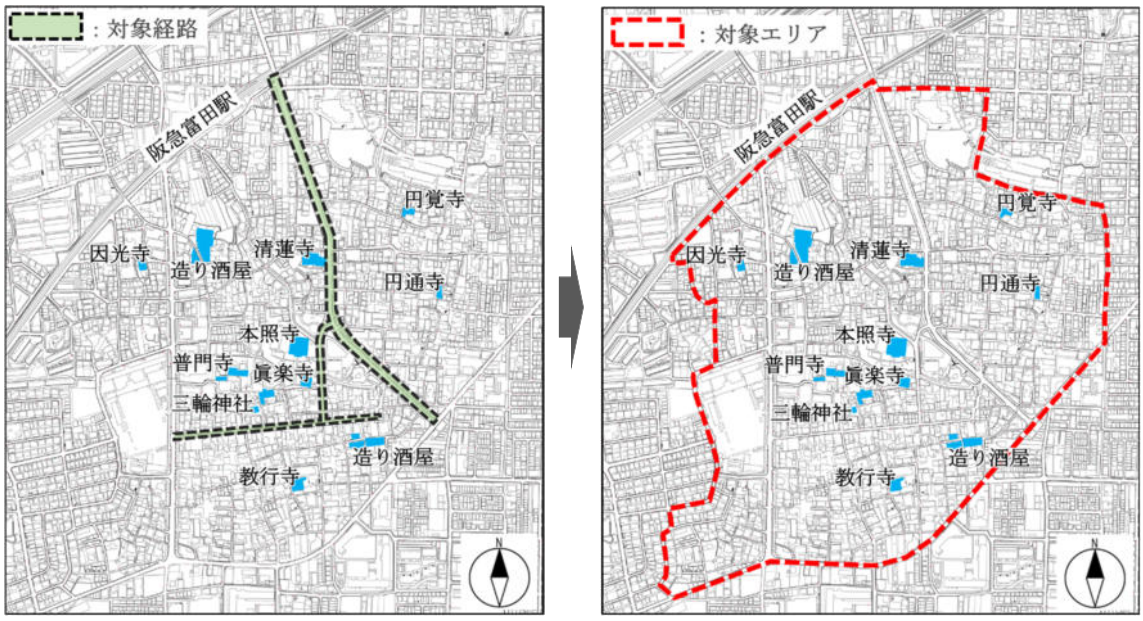
開口部:木で仕上げ、その形状や格子などで造り酒屋や町家と調和を図ること。

※工事に要する費用のうち半額を補助　限度額　１００～３００万円

（自己負担:５０％　補助：５０％）

（２）制度活用に向けたさらなる取組

○対象エリアの拡大



○主な修景基準の見直し

屋根	周辺と調和した勾配形式とし、黒・灰色系の日本瓦葺き又はこれに模した仕上げとすること。
壁面	木、土、漆喰などの自然素材又はそれに模した材料を用いた仕上げとし、造り酒屋や町家と調和を図ること。
開口部	木又はそれに模した材料を用いた仕上げとし、その形状や格子などで造り酒屋や町家と調和を図ること。

（下線部が見直し箇所）

１－５　今後の取組

全体スケジュール（予定）

（年度）

